

第7回NPO「全世代」フォーラム 声明文

平成30年11月10日(土) 早稲田大学 19号館 711教室にて【地方活性化とNPOの役割】を主要テーマとし、第7回NPO「全世代」フォーラムが開催された。

1. 上記主要テーマに関するパネルディスカッションには、大宅映子氏(全世代代表理事、評論家)のコーディネーターのもと、▽内田健夫氏(全世代理事、医師)、▽千葉光行氏(認定NPO法人健康都市活動支援機構代表)、▽小柴巖和氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング新事業開発室副部長)、▽仁木崇嗣氏(全世代理事、ユースデモクラシー推進機構代表理事)、▽藤岡雅美氏(厚生労働省・経済産業省「不安な個人、立ちすくむ国家」作成メンバー)の5名が参加した。

2. NPO「全世代」の活動報告として

- ① 待機児童問題を解消する「病院内保育所」の地域開放については石濱人樹氏
 - ② 「他のNPOとの連携」については仁木崇嗣氏
 - ③ 全世代会員の集いの場「アゴラ」については宇井睦人氏
 - ④ NPO「全世代」ホームページ刷新については高津晶氏
 - ⑤ 認定NPOの資格獲得に向けた取組については森裕子氏
- により行われた。

3、第7回NPO「全世代」フォーラムの参加者は、上記1、2、の議論を通して、以下【1】【2】【3】【4】【5】【6】【7】について合意した。

【1】「待機児童解消」プロジェクトは既に、院内保育所を地域に開放するためのガイドラインを作成し、全国の病院に配布すると同時に アンケートを実施した。その結果、院内保育所の地域開放の実現を検討するにあたり、NPO「全世代」のアドバイスを受けたい旨の回答をした複数の病院との協議を具体的に進めること。

【2】 来年度(2019年)から、地方活性化の一貫として、「他のNPO法人との『パラダイムシフト』連携」を推進する。具体的には、健康、経済的自立、地域のリーダー養成などをキーワードとし、「ユースデモクラシー推進機構」や「NPO法人健康都市活動支援機構」など、志を共有するNPO等との連携を分科会の開催などを通じ更に強めること。

【3】 効率的なNPO法人の運営を目指し、魅力的な人の個性に着目した「不定芽トークイベント」、NPO内外の交流と知見・見識の拡大を目的とした「アゴラ」の2つのゲ

ストーク形式のイベントを総括し、統合・昇華させる。テーマの明確化や参加方法の工夫を検討し、2019年度より本格稼働する。

【4】NPO「全世代」ホームページの刷新については、スマートフォンファーストの機能整備を行う。機能設計においては、

- ①ワンアクションで見たい情報を閲覧できること
- ②ニュースなどの鮮度の高い情報がトップページで簡単に閲覧できること
- ③簡単な操作によって情報をアップデートできること

等を追求し、可及的速やかに利用可能とすること。

【5】NPO法人の正式認定資格を得るためには、年内にさらに約50人の賛助会員の獲得が必須なので、理事を中心にさらなる努力を継続すること。

【6】NPO法人「全世代」医療部会は医師の地理的偏在については、政府への提案を行い、全世代の意見が一部法案として取り上げられた。来年度からの医療部会の新しい取組として、退職した医師を活用し医師不足地域を支援する「退職医師再就職支援事業」について分科会などを通じて具体的な取組方法を検討していくこと。

【7】以上【1】【2】【3】【4】【5】【6】の項目については、平成31年5月11日(土)に予定されている第8回 NPO「全世代」フォーラムにて進捗状況を報告すること。

以上